

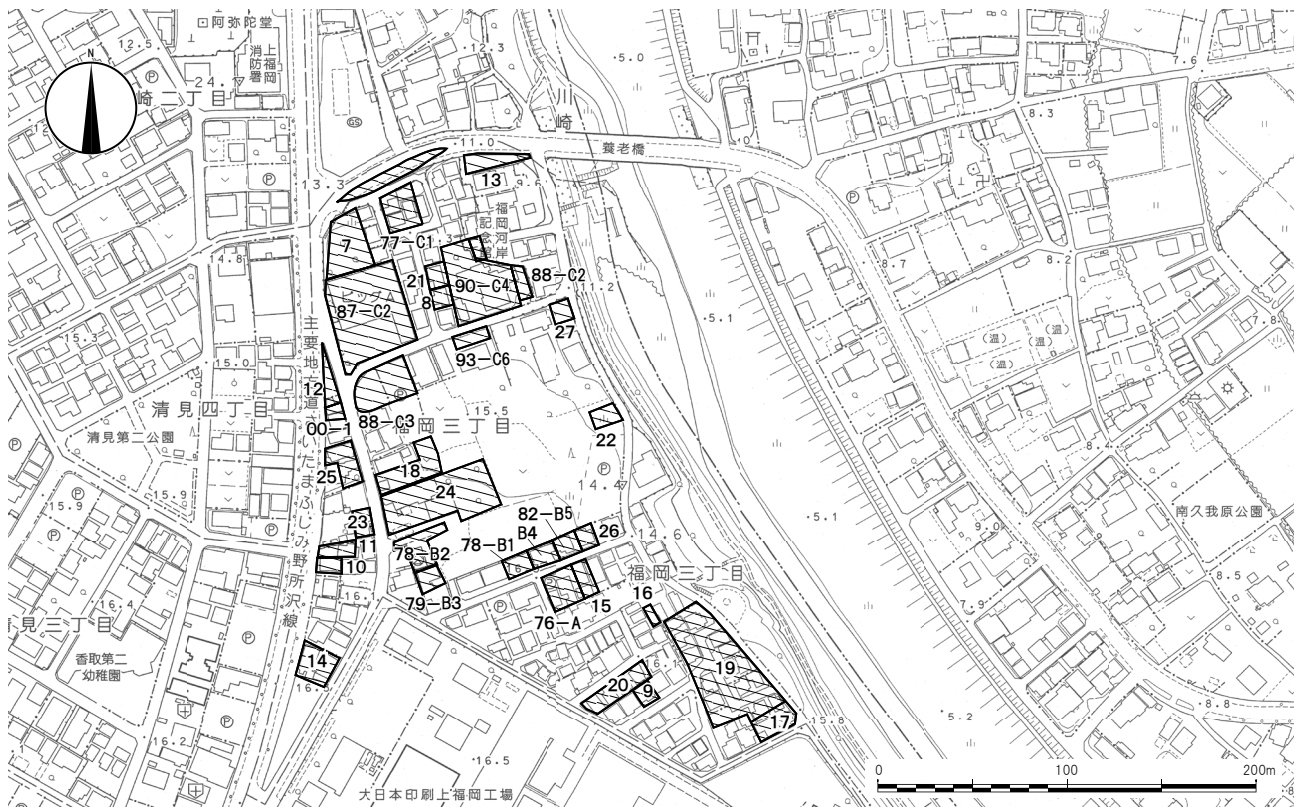
第 4 章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差 2 m 程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は 14 ～ 16 m で、遺跡の範囲は南北 360 m、東西 160 m 以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976 年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2020 年 4 月現在 33 ケ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014 年に第 16 地点の発掘調査で、古墳の周溝から 6 世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015 年の第 19 地点でも新たに 3 基の円埴輪を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡 A、ハケ遺跡 B、ハケ遺跡 C と呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。



第 41 図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第23表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
76-A	大字中福岡字遠見 1228～2021	1976.9.11～16	306		個人住宅	古墳時代住居跡1、竪穴状遺構、土 師器等	A-1次	上遺調、市史資
77-C1	大字中福岡字清見 1480	1977.8.2～27	1,794		宅地造成	縄文時代住居跡5、古代住居跡2、 竪穴状遺構、炉跡、土坑、墨書土 器等	C-1次	ハケC、市史資
78-B1	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165		個人住宅	遺構なし、縄文土器	B-1次	上埋Ⅰ、市史資
78-B2	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360		貸家	炉跡、土坑、縄文土器	B-2次	上埋Ⅰ、市史資
79-B3	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166			土坑、縄文土器	B-3次	上埋Ⅱ、市史資
82-B5	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10～17	165			溝、縄文土器	B-5次	上埋Ⅴ
87-C2	福岡3-2068-1・2	1987.4.16～5.29	1,900		倉庫付住宅 改築	縄文時代住居跡11、古代住居跡4、 古代掘立柱建物跡1、土坑、縄文 土器、土師器等	C-2次	上埋Ⅹ、市史資
88-C3	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627		駐車場	縄文時代住居跡4、古代住居跡2、 縄文土器等	C-3次	上埋11、市史資
88-C2	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60		擁壁改修	縄文時代住居跡2	C-試	上埋11、市史資
90-C4	福岡3-2069-1の一部 (旧福田屋敷地内)	1990.6.20～9.6 H3.1月末 1994.6.10～1.31	500 54		河岸記念館 管理棟・ 庭造成	旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、 (礎石・火処・物置跡・粘土遺構)、 縄文時代住居跡8、古代住居跡3、 土坑、溝、縄文土器、土師器等	C-4次	H2上社、市史資、 上埋17
93-C6	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	141.91		個人住宅	土坑、縄文土器	C-6次	上埋16
00-1	福岡3-1184-8	2000.1.26	100		個人住宅	遺構遺物なし	C-試(2)	上埋22
7	福岡3-2 福岡3-1479-1	(2006.7.10～22) (2013.8.10・11) 2013.8.21～11.11	666 712.35	(130) (34.7) 520	宅地造成 分譲住宅	縄文時代住居跡3、古代住居跡4、 集石土坑、土坑、溝、井戸、縄文土器、 須恵器等	C-7次	市内3・13
8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	(11)	個人住宅	縄文時代住居跡1、溝、縄文土器 等	C-8次	市内6
9	福岡3-1257-7、 1259-1	(2010.2.2～4)	120	(30)	個人住宅	土坑、縄文土器	C-9次	市内8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	(37)	個人住宅	溝、遺物なし		市内14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21・22)	157.7	(30)	分譲住宅	屋外埋壘、縄文土器		市内14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	(22)	分譲住宅	ビット、縄文土器等		市内15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.3)	183	(2.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	(15.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8・9)	184.09	(64.7)	分譲住宅	土坑、縄文土器片		市内20
16	福岡3-1254-7・14・ 17	(2014.8.11～9.2) 2014.9.3～9	68	(26.25) 19.36	分譲住宅	古墳1、人物・円筒埴輪、縄文土 器等		市内20・21
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.26～30)	98.58	(50.4)	分譲住宅	溝、縄文土器等		市内20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4～10) 2015.1.6～16	510.67	(107.85) 64	分譲住宅	縄文時代住居跡1、土坑、溝、縄 文土器		市内16・20
19	福岡3-1222-1、1223 ～1225、1255	(2015.4.2～5.11・ 10.13) 2015.6.2～9.19	2,296	(572.6) 885	宅地造成	古墳3、礎石建物跡1、溝、ビット、 象形・円筒埴輪、縄文土器等		市内21・22
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29・30	375	(90.4) 33	分譲住宅	堀跡、土坑、火工廠境界杭、ビット、 土師器		市内21
21	福岡3-1193-4・15、 2069-10	(2016.1.5)	101	(20.2)	個人住宅	遺構遺物なし		市内22
22	福岡3-2061-3の一部	(2016.12.26～ 2017.1.19・9.11) 2017.1.25～2.8 (2017.7.18)	249.32	(116.65) 40.5	はけ自治会 集会施設	古代住居跡1、土坑、ビット、縄 文土器等		市内24
23	福岡3-1183-1の一部		137	(14.27)	個人住宅	ビット、縄文土器		市内24
24	福岡3-1178-1、 1179-1、1180-1、 1181-1、2066-2、 2067	(2017.7.19～27) 2017.7.28～8.7	1,702.15	(446) 63.75	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴遺構、土坑、 集石土坑、ビット、縄文土器等		市内23
25	福岡3-1184-5・6	(2018.6.12)	297	(68.27)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内25
26	福岡3-1228-48	(2019.6.25・26)	135	(41.13)	分譲住宅	土坑、溝、須恵器、墨書土器、紡 錘車		市内25
27	福岡3-2061-2	(2020.3.25～27)	226.22	(61.8)	共同住宅	遺構なし、縄文土器等		市内25



第 42 図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/1,500)

IV ハケ遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2020年3月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2020年3月25～27日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約15～100cmである。

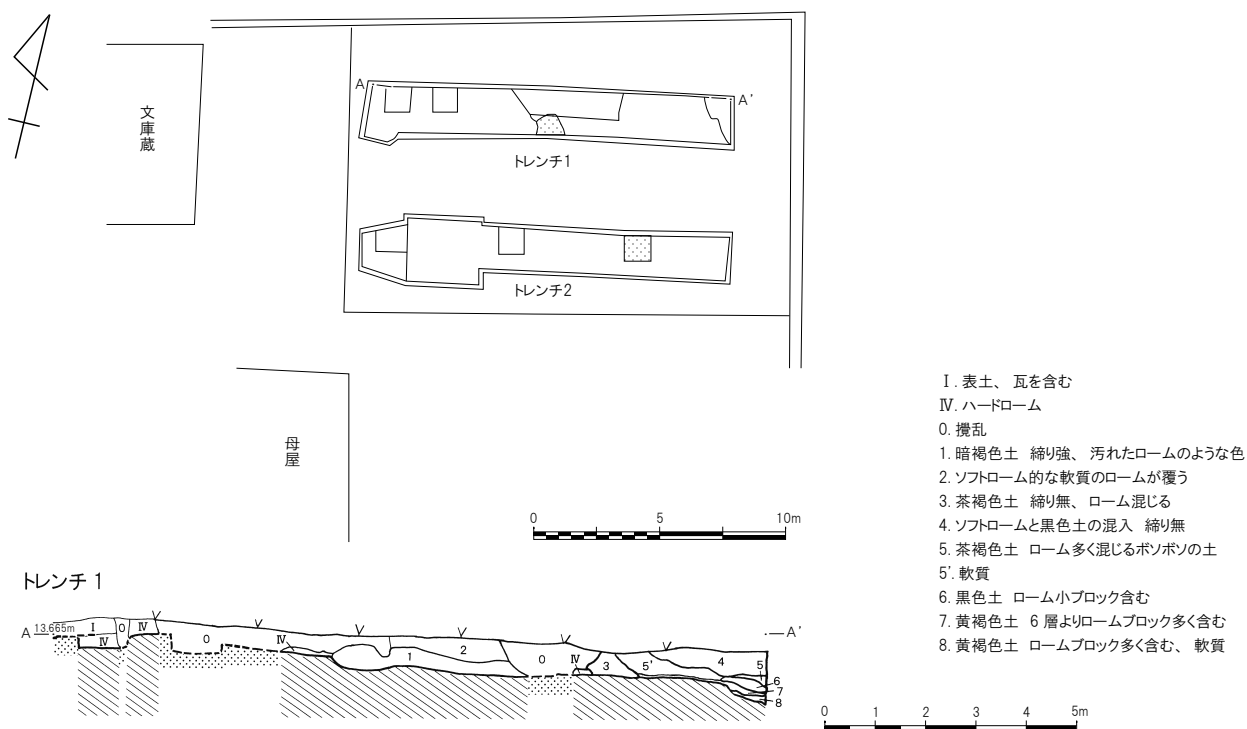
調査の結果、遺構は確認されなかったが、旧石器時代の調査を実施したところ、石器1点が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

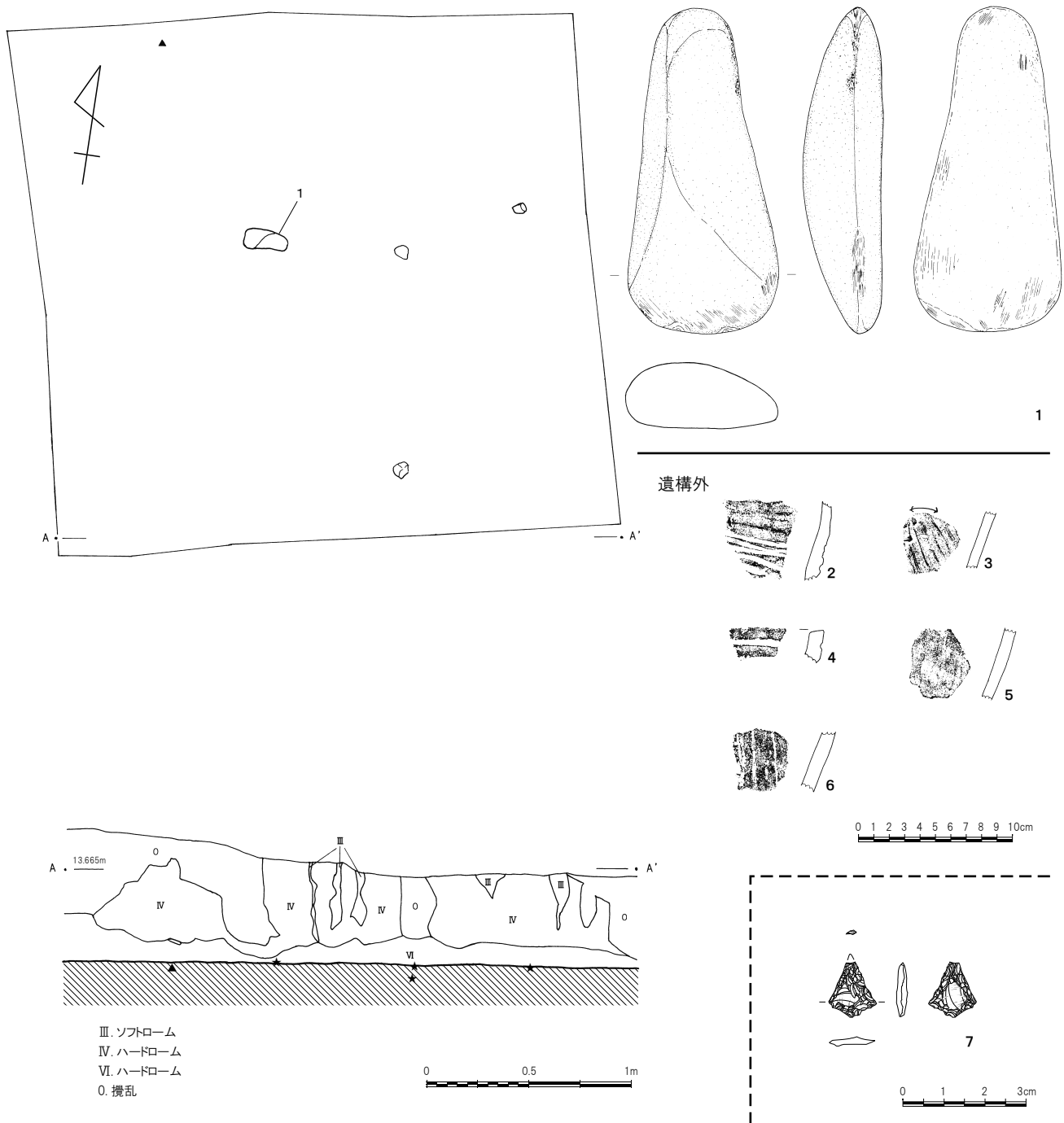
旧石器時代の調査は、台地落ち込み際で調査区西側5ヶ所の深掘りを実施した。そのうちトレンチ2の最西寄りから4点の礫が出土した。出土した区画を中心に2.5m四方の範囲を拡張し旧石器時代の調査を行った。関東ローム層の堆積は当該地域では380cmと厚く、ローム層の状況はやや汚れた感がある。基本層位は耕作土が削平されていたため、いきなりⅢ層のソフトローム層がⅣ層に入り込むハードローム層であった。第Ⅴ層の第1暗色帯は確認できなかった。礫の出土層位は、第Ⅳ層である。他でも深掘区の拡張を行い分布の広がりを確認したが、他には出土しなかった。

出土した石器は砂岩製の大型磨石である。磨面は両面や側面で観察された。特に左側面で顕著である。また長軸上端、下端部には敲打痕が残り認められる。大型のハンマー、敲石としても使用されていたと思われる。

他の3点は人工品なのか疑問でもある。イモ石等自然礫と考えられる。台地の形成過程でローム層に礫が含まれる場合のあり方などを含めて、検討する必要がある。



第47図 ハケ遺跡第27地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)



第 48 図 ハケ遺跡第 27 地点旧石器時代遺物出土状況 (1/30)、出土遺物 (1/4・2/3)

第 25 表 ハケ遺跡第 27 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第 48 図 -1	旧石器時代確認 トレンチ	石器・大形磨石	長さ：21.4 cm、幅：9.8 cm、厚さ：5.0 cm、重量：1372.15g、石材：砂岩	旧石器
第 48 図 -2	遺構外	縄文・深鉢	胴部、半截竹管状工具による沈線文・胎土に雲母、砂礫を含む	中期
第 48 図 -3		縄文・深鉢	胴部、内外面貝殻条痕文・内面黒色化、胎土に白色粒子を含む	早期か
第 48 図 -4		縄文・深鉢	口縁部、横位沈線・胎土に砂礫を多く含む	中期
第 48 図 -5		縄文・深鉢	胴部、内外面貝殻条痕文・内面一部黒色化、胎土に砂礫を多く含む	早期
第 48 図 -6		縄文・深鉢	胴部、外面条線文・内面に煤付着、胎土に砂礫を多く含む	中期
第 48 図 -7		石器・石鏃	長さ：1.349 cm、幅：1.164 cm、厚さ：0.271 cm、重量：0.32g、石材：チャート・周辺加工の小型有基鏃	—



ハケ遺跡第 27 地点トレンチ全景



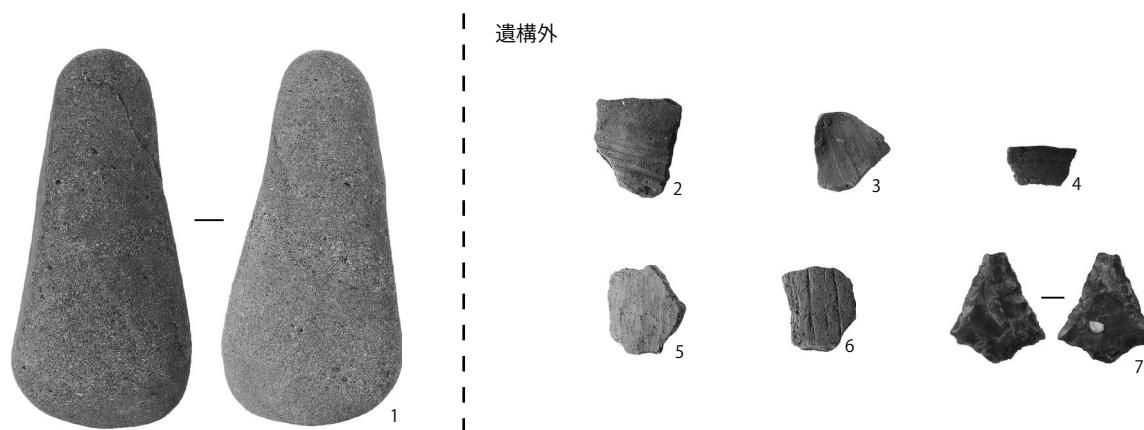
ハケ遺跡第 27 地点トレンチ 1 旧石器出土状況



ハケ遺跡第 27 地点トレンチ 1 旧石器確認



ハケ遺跡第 27 地点調査風景



ハケ遺跡第 27 地点出土遺物